



奈良県感染症情報

令和6年 第8週(2月19日～2月25日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

「インフルエンザ」警報発令中です!

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	14.81	(22.80)	↘	↘	↓	↘
2	新型コロナウイルス感染症	7.80	(10.65)	↘	↘	↘	→
3	感染性胃腸炎	5.48	(6.12)	↘	→	↘	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	2.24	(2.21)	↘	↘	→	→
5	手足口病	0.73	(0.27)	↑↑	↑↑	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの定点当たり報告数は14.81でした。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は7.80でした。上記2疾患とも2週続けての減少となりましたが、引き続きの感染予防対策をお願いします。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は5.48でした。中部及び南部では減少傾向ですが、北部では横ばいです。食事前、トイレに行った後、調理前等には入念に手を洗い、感染予防に努めましょう。

A群溶連菌咽頭炎の定点当たり報告数は2.24で、高い水準を維持しています。

手足口病の報告が県北部地域で急増し、定点当たり報告数では0.73となりました。同時期の過去10年平均と比較すると報告数が多く、今後の動向を注視しています。主要病原体はエンテロウイルスで、主な感染経路は飛沫や接触、糞便経口感染です。自身では感染対策が十分できない乳幼児の集団生活において集団感染が起こりやすいとされています。保育施設等では注意してください。

◆ インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の感染対策 ◆

- 基本的な感染防止策(換気、消毒、距離、必要な場面でのマスク着用)を徹底し、発熱や倦怠感があるなど、少しでも体調が悪い時は外出を控えましょう。
- 外出後など、こまめに流水・石けんによる手洗いをしましょう。手指消毒も有効です。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

インフルエンザとCOVID-19の流行が続いている。

感染性胃腸炎も多い、点滴が必要な症例もあった。流行性耳下腺炎があった。



中部地区(岡本内科こどもクリニック)

感冒症状の例が多く外来は増加。

インフルエンザが流行、ほとんどがB型、少ないがA型もある状況。症状は発熱、軽度の感冒症状程度。

COVID-19は減少、散発程度に見られる。乳児、新生児も見られるが軽症。

家族中に蔓延することもなく感染力は強くない印象。

感染性腸炎も流行、短期間の嘔吐が主、下痢はない場合も多い。

他に、流行性耳下腺炎、手足口病、A群溶血性連鎖球菌が見られた。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザB型の流行が続いている。A型が流行している地域もある。

COVID-19感染症も流行が続いている。

アデノウイルス感染症は減少、ノロウイルス胃腸炎も減少してきている。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 6 年 第 8 週 2 月 19 日 ~ 2 月 25 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野			
インフルエンザ/COVID-19定点数	54	14	13	11	10	6		
インフルエンザ	800 (14.81)	229 (16.36)	155 (11.92)	115 (10.45)	243 (24.30)	58 (9.67)		
新型コロナウイルス感染症	421 (7.80)	60 (4.29)	110 (8.46)	92 (8.36)	102 (10.20)	57 (9.50)		
小児科定点数	33	9	8	7	6	3		
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	19 (0.58)	7 (0.78)	4 (0.50)		6 (1.00)	2 (0.67)		
A群溶連菌咽頭炎	74 (2.24)	14 (1.56)	7 (0.88)	15 (2.14)	32 (5.33)	6 (2.00)		
感染性胃腸炎	181 (5.48)	49 (5.44)	55 (6.88)	23 (3.29)	44 (7.33)	10 (3.33)		
水痘	6 (0.18)	4 (0.44)	2 (0.25)					
手足口病	24 (0.73)	1 (0.11)	15 (1.88)	8 (1.14)				
伝染性紅斑								
突発性発しん	9 (0.27)	1 (0.11)	3 (0.38)	2 (0.29)	3 (0.50)			
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.13)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0		
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	6 (0.60)	3 (1.00)	1 (0.33)	2 (1.00)				
葛城定点数	6	1	2	1	1	1		
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1件(中和1)、 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(奈良市1)、 腸管出血性大腸菌感染症2件(中和2)、 梅毒1件(中和1)、麻しん1件(奈良市1)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	6	新型コロナウイルス感染症	36
---------	---	--------------	----

❖ 第8週のトピックス ❖

麻しん(はしか)の注意喚起~麻しん患者の発生について~(奈良市)

<https://www.city.nara.lg.jp/uploaded/attachment/172784.pdf>

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

※令和3年12月20日より吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
		インフルエンザ	男女		5	14	10	13	27	25	39	37	43	23	134	23	16	14	9	5	2	1	3
新型コロナウイルス感染症	男女	2	3	8	1	5	1	3	3	1	2	3	12	4	16	30	24	14	22	21	14	189	2134
	男女	2	4	3	2	2	4	2	8	5	2	3	17	9	19	20	27	33	24	16	30	232	2415
RSウイルス感染症	男女																						
咽頭結膜熱	男女		1	4	1	2							1		1							8	144
A群溶連菌咽頭炎	男女			1	3	3	8	8	4	6	2	4	3		1							43	401
	男女		1	1	2	2	4	6	1	7	5	2										31	298
感染性胃腸炎	男女	1	6	9	11	9	8	8	6	6	10	5	3	1	8							91	972
	男女	2	2	17	13	4	10	5	6	1	6	3	5		16							90	831
水痘	男女			1			1	1		2			1									6	20
	男女																						17
手足口病	男女			1	4	2			2													9	47
	男女			6	4	1		2	1			1										15	44
伝染性紅斑	男女																						
突発性発しん	男女		2	2																		4	28
	男女			5																		5	26
ヘルパンギーナ	男女																						2
	男女																						7
流行性耳下腺炎	男女																						2
	男女												1									1	2
急性出血性結膜炎	男女																						1
流行性角結膜炎	男女														2							2	20
	男女															3					1	4	24
細菌性髄膜炎	男女																						1
無菌性髄膜炎	男女																						
マイコプラズマ肺炎	男女																						1
	男女																						
クラミジア肺炎	男女																						
	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						
	男女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

